

# 2020 年度 事業計画

一般社団法人横浜みなとみらい21

# 2020 年度 事業計画

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

当社は、2009（平成 21）年度の事業開始以降、会員の皆様とともに地区全体としてエリアマネジメント活動を実践しており、街づくり調整や地区プロモーションなどを着実に推進してまいりました。今後も、地区の現状把握や課題の洗い出しを行うとともに、各種委員会等での意見交換や会員向けアンケートなどを行うことで、より効果的・効率的に事業を遂行してまいります。

## 1 事業構成

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| (1) エリアマネジメント推進事業    | ア 街づくり調整事業       |
| (2) 横浜都心電波対策事業       | イ 環境対策事業         |
| (3) 広告・イベントスペース等運用事業 | ウ 文化・プロモーション事業   |
|                      | エ 地域活性化推進事業（その他） |

## 2 社員総会及び理事会の開催

- (1) 社員総会：定時社員総会（6 月）
- (2) 理事会の開催：定例理事会（6 月、11 月、3 月）

## 3 2020 年度事業計画の特徴

街の開発状況等の近年の動きを踏まえて、従来の活動に加えて取り組むべきエリアマネジメントの方向性を検討するため、地区内関係者・横浜市・学識経験者からなる検討会「エリアマネジメントのあり方検討会」を 2019 年度に実施しました。

この結果を踏まえ、2020 年度は「(1) 新たなエリアマネジメントの推進」「(2) オープンイノベーション」の分野を事業化します。

### (1) 新たなエリアマネジメントの推進事業（P. 4）

#### <都市デザイン>

コモンスペース・アクティビティフロアや公共的空間に関して現状を把握し、新たな活用方法について検討することで、さらなる活性化や魅力アップを目指します。

#### <観光・MICE・ナイトタイムエコノミー戦略>

MICE やエンターテインメント施設に訪れる外国人や国内の観光客、地域内の就業者等が共に楽しめる魅力的な街づくりを目指して、地区全体としての MICE への取り組み方策、会議やコンサート終了後の夜間の楽しみ方の充実方策、周辺地区との連携方策等を検討します。

### (2) オープンイノベーション推進事業（P. 12）

当地区に集積が進んでいる R&D 施設等の連携支援やエリア内外で実施しているスタートアップ支援の取組等と連携してオープンイノベーションに取り組めます。また、横浜市と連携してイノベーションを推進するための協議会設立に向けた準備・調整を行い、時代を牽引する「先進性」や「創造性」にあふれる街を目指します。

街の安心と安全、来街者にとっての利便性や快適性の向上、その他各種調整や情報発信を行い、時代の変化に適応した街づくりを進めていきます。

## ○ 安全・安心な街づくり

### ◇みなとみらい21地区における地震対策の推進

8,500 千円

#### 【企画調整部・総務部】

みなとみらい21地区の、災害に強い街としての強みとエリアマネジメント活動の実績を活かして、地区内関係者が連携する『共助』の取組を進め、災害に対してより強靱で『安全・安心な街』の実現とその周知徹底を実施します。

2020年度は、引き続き「みなとみらい21防災エリマネ推進委員会」において検討を進め、『都市再生安全確保計画』を踏まえ、帰宅困難者対策や情報受伝達体制の強化等を進めます。

#### ① 帰宅困難者受入対策・一斉帰宅抑制の推進

帰宅困難者を受け入れる当地区独自の仕組みである『帰宅困難者一時滞在施設登録制度』について、横浜市と緊密に連携を図りながら運用を進め、各施設との協議や図上訓練の活用などを通して登録施設の拡充や地区内事業所の一斉帰宅の抑制を図ります。

#### ② 情報受伝達体制の強化

災害時の地区内の各施設や行政機関等を連絡する情報受伝達体制の強化に向け、引き続き、複数の伝達手段の確保に向けた先行試験導入などを行います。

このうち、横浜みなとみらい21のホームページに開設している『会員用災害時掲示板』については、情報受伝達訓練を毎年実施していますが、2020年度は更なる改良・訓練を行いながら、普及・定着を図ります。

#### ③ 災害時行動ガイド及び帰宅困難者支援ガイドの更新・発行

災害時の情報受伝達や帰宅困難者対応のマニュアルとして取りまとめた『災害時行動ガイド』の運用・周知を図るとともに、より充実した内容とするための更新を図ります。

また、昨年に4か国語表記を実現した一般向けの帰宅困難者支援ガイド（防災マップ）についても、より分かりやすい表現等の改良を行い更新・発行します。



＜ 災害時行動ガイドと帰宅困難者支援ガイド ＞

#### ④ 合同防災訓練、防災講演会等の実施

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、防災エリマネ推進委員会の活動と連動、検討成果を反映しながら、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練を実施します。

また、意識啓発のための防災講演会等を引き続き実施します。

#### <参考：訓練内容>

- ・情報受伝達訓練（含会員用災害時掲示板）
- ・津波避難訓練
- ・帰宅困難者受入訓練
- ・負傷者搬送及び応急手当訓練
- ・車いす乗車体験及び車いす搬送訓練
- ・災害用地下給水タンク操作訓練
- ・屋内消火栓放水訓練及び消火器訓練
- ・起震車体験
- ・煙通路体験



< 帰宅困難者受入訓練 >

## ○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

### ◇みなとみらい21街づくり状況の各種調査

1,500 千円

#### 【企画調整部】

来街者調査や進出企業調査等を継続的に実施し、エリアマネジメント活動の基礎資料とします。調査にあたって、社会情勢にあわせた諸条件の見直しのための調査も行います。

また、地区内の利便性、回遊性向上に向けた検討を行います。

### ◇みなとみらい21地区における交通対策等の検討

3,000 千円

#### 【企画調整部】

街区開発の急速な進展や大規模集客施設の立地計画等を踏まえ、横浜市と連携して、歩行者の将来交通量推計調査を実施し、安全で快適な歩行者環境を確保するための課題整理、必要な対応策の検討を進めてきました。

2020年度は、大規模集客施設のイベント時における、対応策の妥当性を確認し、別途対応策が必要となるか現況把握を行います。また、実態把握や新たなデッキ整備の必要性を検討するため、自動車交通量の調査も実施します。

### ◇駐車場案内システム協議会の運営

#### 【企画調整部】

引き続き、駐車場案内システムの運用を進めるとともに、協議会への参画を推進します。

## ○ 街づくりの誘導・調整、情報発信

### ◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

4,000 千円

#### 【企画調整部】

みなとみらい21中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づ

くりに関するルールである「街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

2020年度は引き続き、戦略的な街づくりを進めるための方策について、多岐・多様なテーマに優先順位をつけながら検討を行います。

#### ◇「みなとみらい21インフォメーション」等の改訂

2,000千円

##### 【企画調整部】

企業誘致や様々な視察対応等に備え、当地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい21インフォメーション（冊子）」等を制作します。2020年度も冊子の改訂を行うほか、マスタープランのデータ更新等も行います。

#### ◇街づくり調整委員会（部会）の開催

100千円

##### 【企画調整部】

新港地区、中央地区、横浜駅東口地区それぞれの開発の経緯や背景等の地区特性を尊重し、街づくりの方向性や課題、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

#### ◇全国エリアマネジメントネットワークへの参画

400千円

##### 【企画調整部・事業推進部・総務部】

2016年度に発足した全国エリアマネジメントネットワークの諸活動に参画するとともに、全国の各団体と交流を図るなど、エリアマネジメント活動を進化させます。

### ○ みなとみらい21地区の土地の公募業務

#### ◇土地公募業務

2,000千円

##### 【企画調整部】

当地区における横浜市所有の土地について、横浜市から開発事業者公募の業務を受託し、業務内容に応じて、誘致促進に向け開発事業者への情報提供等を行います。

### ○ 新たなエリアマネジメント推進事業

#### ◇「新たなエリアマネジメント」推進事業

【新規】

7,700千円

##### 【総務部・企画調整部・事業推進部】

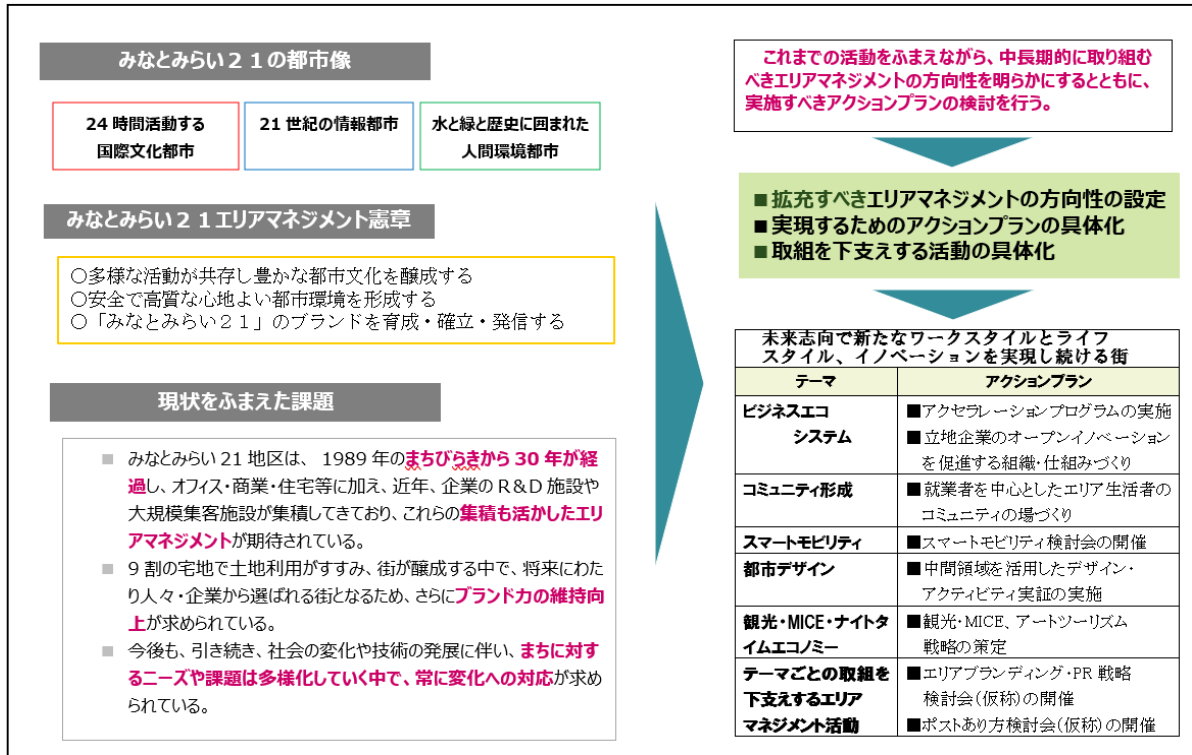
2019年度に地区内関係者・横浜市・学識経験者からなる検討会を開催し、今後拡充していくテーマ・アクションプランを取りまとめました。2020年度はそこから「都市デザイン」、「観光・MICE・ナイトタイムエコノミー」、「オープンイノベーション（後掲：地域活性化推進事業）」を事業化するとともに、アクションプランにもとづくそれぞれ取組の進行状況を確認するためのレビュー会議を2回実施して、より良い取組に誘導します。

## 「都市デザイン」事業

コモンスペース・アクティビティフロアや公共的空間の活用について、さらなる活性化や魅力アップを目指し、現状を把握するとともに新たな活用方法について検討します。

## 「観光・MICE・ナイトタイムエコノミー」事業

MICE やエンターテインメント施設に訪れる外国人や国内の観光客、地域内の就業者等が共に楽しめる魅力的な街づくりを目指して、地区全体としての MICE への取り組み方策、会議やコンサート終了後の夜の楽しみ方の充実方策、周辺地区との連携方策等を検討します。



＜昨年実施した「エリアマネジメントのあり方検討」のプロセス＞



## 環境対策事業

30,600 千円

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

### ○ スマートなまちづくりの実現に向けた取組

「環境未来都市」とその新たな展開を図る「SDGs 未来都市」や「イノベーション都市・横浜」等の横浜市の施策を踏まえながら、地区内関係者や行政、大学・研究機関などと連携して、スマートなまちづくりの実現に向け、先進的・意欲的な取組を推進します。

また、この地区における各種取組について、積極的に情報発信を行うとともに、将来に向けた環境対策事業全体の取り組みの方針について検討します。

#### ◇みなとみらい2050 プロジェクト等の推進

【拡充】

7,500 千円

##### 【企画調整部】

みなとみらい2050 プロジェクト・アクションプラン等を踏まえ、地区内関係者や行政・大学等と連携した取組を進めます。また、企業本社、研究開発拠点や大学等の集積状況を活かして、関係者とのネットワーク強化を行うとともに、昨年度に引き続き、フューチャーセンター（情報発信拠点）について、ワークショップなどを開催しながらその具体化の検討を進めます。また、街区開発が最終局面を迎えつつあることを踏まえ、昨年度実施したエリアマネジメントのあり方検討に基づく、「SDGs 未来都市」の実現につながるスマートなモビリティの検討や様々な実証実験と先行モデル事業などの実現を推進します。

#### ◇水環境向上及び生物多様性に関する取組

7,500 千円

##### 【企画調整部】

自動車道沿い護岸の「実験場」における「水環境向上及び生物多様性」の実証実験3カ年半の成果及び課題を踏まえて、学識経験者・地区内関係者等も交えて新たな展開方策の検討を進めます。2018年度より自動車道「実験場」を拡張して覆砂やアマモ・アサリ等育成方法の改良及びノリの育成実験、地区内関係者や活動団体・学校等と連携した観察会や報告会等開催などの情報発信を行っています。2020年度は、引き続き、アマモ・アサリ・ノリの育成状況の観察と改善を図りながら、HP上の取組記事による動画や写真のネット配信、ワークショップ、観察会・報告会の開催等、海に面する当地区の魅力を積極的に発信するとともに、新たな取り組みや見直しを検討します。



＜ 水環境向上・生物多様性観察会 ＞

### ◇『緑・花』推進に関する取組

9,000 千円

#### 【企画調整部】

桜木町駅前広場での年間を通じた『緑・花』を増やす取組や、『ガーデンネックレス横浜』と連動したイベントの開催、樹名板の更新等を実施します。引き続き、地区内の歩行者の多い場所での『緑・花』を増やす取組や『ガーデンネックレス横浜』と連動した取組を横浜市とも連携して実施し、地区に彩りをもたらします。



〈 まちかどの緑：横浜美術館横 〉



〈 まちかど花壇 クイーンモール橋 〉

## ○ 環境意識の啓発に向けた取組

### ◇身近なエコ活動の実施、検討

6,500 千円

#### 【企画調整部】

多くの会員が参加できる環境イベント等を検討、展開します。2020年度は、引き続き「アースアワー」への参加によるライトダウン活動や会員企業が身近に取り組める活動を推進するなど、環境意識の向上を図ります。

### ◇環境対策委員会（部会）の開催

100 千円

#### 【企画調整部】

当地区の環境対策（地球温暖化対策等）を議論する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

### ◇地区内の清掃活動の実施

#### 【事業推進部】

当社団が事務局となり、周辺事業者及び住民等の参加を得て毎月3か所で、次のとおり、定期清掃活動を実施します。



| 活動主体          | 清掃箇所                           | 実施日   | 参加者   | 制度          |
|---------------|--------------------------------|-------|-------|-------------|
| 桜木町駅前広場活性化委員会 | 桜木町駅前広場                        | 第1水曜日 | 約20名  | ハマロード・サポーター |
| 新港地区賑わいづくり委員会 | 運河パーク、カップヌードルミュージアムパーク、赤レンガパーク | 第2水曜日 | 約30名  | みなとみどりサポーター |
| グランモール公園愛護会   | グランモール公園                       | 第3火曜日 | 約160名 | 公園愛護会       |



## 文化・プロモーション事業

60,100 千円

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動等を地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

### ○ まちの魅力発信

#### ◇インバウンド（訪日外国人）対応

【拡充】

14,000 千円

##### 【事業推進部】

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」などの国際的な会議・イベントを見据え、シンクタンクのコンサルティングのもと、ホスピタリティ向上を目指した施策として、引き続き以下のアクションプランを実施します。

- ① みなとみらい21地区のPR活動、情報発信・インバウンド対応拠点として、「横浜みなとみらい21地区におけるTIC機能設置実証実験」を4月～8月までの5か月間実施し、常設設置の推進を図ります。
- ② 主として施設責任者および接客対応を行う従業員の方々向けの「ホスピタリティ研修1 ユニバーサルホスピタリティ研修会」を実施します。
- ③ 主として接客対応を行っている従業員の方々向けの「ホスピタリティ研修2 インバウンドホスピタリティ研修会」を実施します。
- ④ 訪日外国人来街者の特性を把握するため、引き続き外国人を対象としたアンケート調査を実施し、情報収集を図ることでより良い施策検討に役立てます。

#### ◇ウェブによる情報発信

9,200 千円

##### 【事業推進部・企画調整部】

主要な情報発信ツールとして定着してきた「みなとみらい21公式ウェブサイト」について、今年度もアクセス分析などを行いながら、改善していきます。同じく「YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ」の内容強化も継続し、利用者数の増加を促進します。

「みなとみらい21地区街づくりサイト」については、主として域内の建物や設備、エリアマネジメント助成等の情報を充実させて参りましたが、本年度も更に街全体の魅力を発信すべく記事更新のみならず全体的な質の改善を図ります。「インバウンドサイト」では、本年度以降に開催される国際的な会議・イベントに対応するため、コンテンツの拡充も含めて、随時内容のブラッシュアップを行っていきます。



＜ みなとみらい21公式ウェブサイト ＞



＜ GUIDE アプリ ＞



＜ みなとみらい21公式インバウンドサイト ＞

## ◇広報誌による情報発信

6,000 千円

### 【事業推進部】

#### ・ 社団タイアップページの作成

2020 年度も、街のフリーマガジン『mirea（ミレア）』（「みなとみらい 21 S P 推進委員会」にて制作費一部負担）のページを活用して、地区内の施設やエリアでの過ごし方などの情報を発信します。



＜フリーペーパー mirea＞



＜mirea 特別編集版＞

## ◇PR活動の実施

1,800 千円

### 【事業推進部】

2020 年度も広域からの来街誘引を図るべく、主要鉄道会社・交通機関の協力のもと、ポスター・チラシ等による広報 PR、情報発信をしていきます。特にボリュームゾーンである都内を中心とする交通系メディアの活用に取り組みしていきます。また、メディア向けにリリース配信会社を通じて、みなとみらい 21 地区のイベント情報のリリースを配信します。

## ◇地区プロモーションの調整

6,000 千円

### 【事業推進部】

「みなとみらい 21 S P 推進委員会」へ参画して「みなとみらい地区の多様な集客施設の面的な訴求」、「集客エリアとしてのみなとみらい地区の競争力維持・向上」に取り組まします。なお、当初の目的はほぼ達せられましたが、当地区の開発進行に伴い新たな企業が増え、コストの管理・考え方の変化が進み、制度や会の見直しの必要性も生じています。

引き続き同委員会に参画しつつ、より効果的な PR 活動を行う仕組みについて会員の皆様の意見を踏まえ見直しも図っていきます。

## ◇公共空間の利活用

8,600 千円

### 【事業推進部】

2013 年度に発足した「みなとみらい 21 公共空間活用委員会」により、公開空地、有効空地、桜木町駅前広場及びグランモール公園でのオープンカフェや各種イベントを実施していきます。キング軸沿いの公共空間の活用についても調整していくほか、「みなとみらい縁市」の実績やノウハウを活かしながら公共空間で実施される各種イベントの支援を行い、さらなる活用と賑わいを創出していきます。

また、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する取組「みなとみらい STREET MUSIC」では、出演者の公募によりさまざまなジャンルの演奏者を発掘していくとともに、出演者自らが運営する方法を推進しながら、演奏の機会を増やしていきます。



＜ オープンカフェ ＞



＜ みなとみらい STREET MUSIC ＞

## ◇地区イベントの開催

【拡充】 12,100 千円

### 【事業推進部】

毎年恒例の「ヨコハマ大道芸」への参画を始め、春の「さくらフェスタ」、「グランモール公園夏祭り」、夏の「大盆踊り」に参画し、地区内の季節の風物詩としての定着を支援します。冬季には、地区内を広域に光で繋ぐイルミネーション企画「ヨコハマミライト」に参画するとともに、今回 24 回目を迎える「TOWERS Milight 〜オフィス全館ライトアップ〜」について、参加施設と協議しながら実施します。

その他、当地区内各エリアでの賑わい創出のため、地区の魅力発信に大きな効果を持つ各種イベントへの参画や、桜木町駅前広場活性化委員会、新港地区賑わいづくり委員会への参画などを積極的に進めます。



＜ ヨコハマ大道芸 2019 in みなとみらい 21 ＞



＜ TOWERS Milight 〜オフィス全館ライトアップ ＞

## ○ その他

### ◇文化・プロモーション委員会等の運営

400 千円

#### 【 事業推進部 】

##### ・「文化プロモーション委員会」

当地区のPRや公共空間利活用等の事業に関する情報共有や意見交換を目的として、年2回開催します。

##### ・「イベント連絡会」

商業施設、ホテル、文化施設など、地区内の各集客施設が情報を共有し、相互連携を図るための場として、毎月1回開催します。

##### ・「インフォメーション担当者意見交換会」

施設の案内受付担当者が情報交換を行うための場として、定期的にインフォメーション担当者意見交換会を開催しています。近年は参加施設が増加して、より情報交換が活発化していますので、インバウンド動向等を中心に更に有意義な場となるよう対応していきます。

### ◇ガイドマップの制作

1,500 千円

#### 【 事業推進部 】

新規施設の動向を踏まえ、7月頃を目途に改訂版「みなとみらい21地区ガイドマップ63版」を制作します。

### ◇歩行者案内地図サインの更新

500 千円

#### 【 総務部 】

当地区内に設置されている歩行者案内地図サインのうち、当社団が更新を担当する9基について、新規施設等の情報更新を行います。



---

**地域活性化推進事業（その他）** →名称変更**12,600 千円**

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、現在地区内に集積が進んでいるR&D施設等の連携を深めてオープンイノベーションの推進を図ることで、当地区の価値向上と活性化を促進する取組を実施します。さらに、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

---

**◇地区内情報等の提供****100 千円****【 総務部 】**

地区内で行われるイベントやそれにとまなう交通規制、各種工事、防災・防犯、行政機関からの情報など、みなとみらい21地区に関連する様々な情報を会員及び施設設置者連絡会の参加企業に随時提供します。

また、必要に応じて地区内全体への周知を行うため、施設設置者連絡会を開催し、より詳細な情報等を提供します。

**◇オープンイノベーション推進事業****【新規】 5,000 千円****【 企画調整部 】**

当地区の立地企業や横浜市都心臨海部全体のオープンイノベーションを推進するため、集積が進んでいるR&D施設等の連携を図り、更に、関内地区のスタートアップ支援などとも連携して企業連携や情報発信等に取り組みます。また、イノベーションを推進する協議会設立に向けた準備・調整を行い、年度内設立を目指します。

**◇会員相互交流の機会の創出****3,500 千円****【 総務部 】**

会員企業・団体のネットワーク形成や就業者間の交流促進を図ることを目的に、「救命講習会」（11月頃）、「横浜みなとみらい21賀詞交換会」（1月）や、「みなとみらい大交流会」を実施します。



＜ みなとみらい21賀詞交換会の様子 ＞



# ◇みなとみらいかもめ SCHOOL

4,000 千円

## 【 事業推進部 】

みなとみらい21地区内の就業者を対象として、春学期（4～6月）と秋学期（9～11月）の年2回、就業後の時間帯に手軽に学べる場を提供します。人気の高い講座を継続するほか、地区内の新しい施設が参画する講座を企画し、新規参加者とともにリピーターの方にも楽しんでいただけるような魅力ある講座を実施していきます。

<参考：2020年春学期講座内容>

【 】内募集数

| かもめスクール 講座名                                |                                                                      |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 01 みなとみらいの誕生<br>～戦後横浜の都市づくり構想～ 【30】        | 08 「みなとみらいで繋がる」五感セラピー講座<br>・天然アロマで春のセルフケア<br>・パステルワークショップ 【各12】      |
| 02 「都市デザイン」って何！？<br>～プロムナード編～ 【20】         | 09 S/PARK 施設体験ツアー 【9】                                                |
| 03 コピー機分解ショー「こびざんまい」 【30】                  | 10 メガロスルフレみなとみらいで「美活」体験！！<br>・ハンモックエクササイズ体験<br>・トランポリンエクササイズ体験 【各16】 |
| 04 ニッサン パビリオン ～マーケティング秘話～ 【40】             | 11 Workout Yoga<br>～簡単全身ボディメイク～ 【15】                                 |
| 05 黄金町エリアの今と昔、<br>アートを通じたまちづくりの取組について 【30】 | 12 天空の茶室でお茶体験 【10】                                                   |
| 06 組織と個人の関係性<br>～何がモチベーションに影響するのか～ 【20】    | 13 JAZZ Bar @横浜みなとみらいホール 【30】                                        |
| 07 三菱みなとみらい技術館で学ぶ！<br>深海探査船の技術にせまる 【20】    | 14 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！<br>落語の楽しみ方、お教えします！ 【30】                        |

---

**横浜都心電波対策事業****104,100 千円**

みなとみらい21地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

---

**◇電波障害対策事業の実施****99,600 千円****【 企画調整部 】**

建物建設に伴うテレビ電波障害対策として、電波障害シミュレーションを行うとともに、事前・中間・事後の実態調査（電波障害受信状況調査）を行い、障害エリアを特定し電波障害対策工事等を実施します。

- ・新規街区開発に伴う電波障害シミュレーション及び実態調査（電波障害受信状況調査）  
53街区、60・61街区の電波障害シミュレーション及び開発状況に応じた事前・中間・事後の実態調査
- ・新規街区開発等に伴う電波障害対策工事等  
58街区ほか

---

**◇横浜都心電波対策協議会負担金****4,500 千円****【 企画調整部 】**

「横浜都心電波対策協議会」の事務局運営経費として負担金を支出します。

「協議会」の事務局運営として、新たな街区開発の案件が生じた場合は、開発者負担金を確定するとともに、その他、基本協定及び協議会の運営に関連して発生する事項に対応します。

## 広告・イベントスペース等の運用事業

73,000 千円

### ◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用

73,000 千円

#### 【 総務部 】

「クイーンズスクエア横浜 専有クイーンモール」等について、店舗や広告、イベントスペースとして貸し付け、快適で賑わいのある空間を創出するため、その利用権等を横浜市から借り受けます。「みなとみらいギャラリー」については利用者へのノウハウの提供や、円滑な貸し出しを行うため、その運営を外部へ委託します。

また、広告・イベントスペースの概要や活用事例等を紹介するパンフレットを活用し、引き続き利用率の向上に取り組めます。



く クイーンズサークルでのイベントの様子 >



< 広告・イベントスペースご利用ガイド >